

学校登山プログラム

ルート1

灘黒岩→表参道→諭鶴羽神社→山頂
→裏参道→諭鶴羽ダム

どんぐり探すと木の肌(樹皮)の観察と活動で諭鶴羽山の人と自然の関わりが楽しく学べる



マツボックリとたおれた木からわかる森の変化(⑨)

たおれた木の正体は、その近くにたくさんあるマツボックリの木。「アカマツ」という木だよ。この木が生きていた50年前くらいは、ここはアカマツの森でした。今は、うろこ模様のどんぐりの森。昔の諭鶴羽山は今と違う様子だったんだよ。



「諭鶴羽山学校登山セルフガイド1：表参道～山頂～裏参道ルート」(景観ストラテジーブック①-1)

2015年7月31日改定版(2015年2月17日初版発行)

坂尾千恵・藤原道郎 fujihara@awajiac.jp

〒656-1726 淡路市野島常盤954-2 <http://www.awajiac.jp/>

兵庫県立大学大学院環境景観マネジメント研究科/淡路景観園芸学校

1本の木から何本も枝が出て いる木の謎を解こう(②)



現在の状態に!



成長する



人が木を切る



芽が出る

木は再生できるんだね。でも、何度も切りすぎたら枯れてしまうよ。昔の人はそれを知ってうまく自然を利用していたんだね。

登っている途中にもたくさんあるよ。神社の裏の木と違いはあるかな?



カゴ(鹿子)ノキの木の肌はおもしろい♪(①)



まずは観察しよう

諭鶴羽山にもいるバンビ(鹿の子)の模様と似ている。それが名前の由来です。



カゴノキパズルをやってみよう!(⑦)



はがれおちた樹皮を手がかりにはがれた場所にはめ込もう

山頂から海と陸側の景色を眺めてみよう(⑦)

陸側 海まで遠い
家の数多い
傾斜ゆるやか
平野がある



山頂からの眺めに違いはあった?



海まで近い
家の数少ない
傾斜急
平野がない

おしりの木を探して! みんなは何に見える?(④)



穴あき



アコぼと



2本生えている



切った跡がある

クヌギの木は、下の方だけ大きな形。まるでおしりのよう。たくさんあるから探してみてね。これは人が何度も切ってきた形だよ。切りすぎると生えてなくなることが分かるよね。

丸い形の石組発見!(③)

正体は、この地域で行われていた炭焼きがまの跡。



山で炭にして、軽くてから里に持ち帰っていたそう。中でもウバメガシ(②)の炭は炭としてとつてもすぐれています。それは、密度が高かたて火が長持ちするから。

ウバメガシは密度が高いことがわかるかな?



他の種類の木、ウバメガシ